

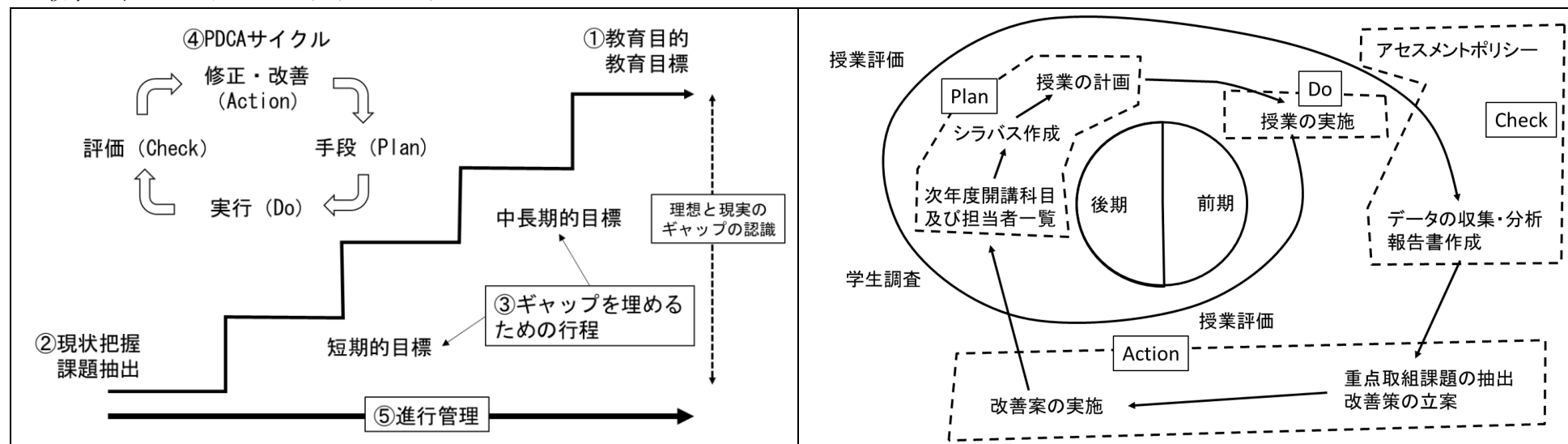
「3つのポリシー」に関するアセスメント・ポリシー（2023年版）

教学マネジメント委員会

1. 目的

- ・本ポリシーは、中期計画 No. 16 及び No. 23 に基づいて、本学の「3つのポリシー」を実質化するための方策を定めるものである。
- ・その方策は、①「3つのポリシー」を検証する視点
 - ②検証の根拠となる各種データを組織的に収集・蓄積・分析する具体的手順
 - ③検証に基づいて重点取り組み課題を抽出し、次年度の教育改善に生かすことによってPDCAサイクルを回すための年間スケジュールで構成する。

2. 教学マネジメントとPDCAサイクルのイメージ



- ・教学マネジメントには、①教育目的、教育目標、②現状把握、課題抽出、③教育目的・教育目標と現状のギャップを埋める行程、④PDCAサイクル、⑤進行管理の5つの要素がある。
- ・大学教育のPDCAサイクルの特徴は、今年度の「Do」が半分進行した状態で、次年度の「Plan」を立てる必要がある点である。そのため今年度の取組結果を「Check」した上で次年度の「Plan」を立てることができない。
- ・これを解決するために、前年度の取組のデータに基づいて「Check」を行い、その結果を次年度の「Plan」作成に反映させることとする。

3. DP・CPの検証

(1) DP・CPを検証する視点

<ul style="list-style-type: none"> ・DP・CPは、教育理念、教育目的、教育目標を踏まえて策定・公表・周知しているか？ ・DP・CPに基づく教学の管理・運営体制は適切か？ ・DP・CPに基づいた教育を実施しているか？ ・主観的及び客観的学修成果の到達度を適切に評価できているか？ ・在学生の満足度を適切に評価できているか？

(2) DP・CP検証のためのチェックリスト

検証の視点	チェックリスト	根拠データ
DP、CPの策定・公表・周知	<input type="checkbox"/> DP・CPを策定している。 <input type="checkbox"/> DPは、各学部・学科の教育目的・教育目標を具体的能力として適切に表現している。 <input type="checkbox"/> CPは、DPと整合性がとれている。 <input type="checkbox"/> DP・CPを公表している。 <input type="checkbox"/> DP・CPを在学生に周知している。	DP、CP 教育目的、教育目標 ナンバリング ウェブサイト、大学案内パンフ、キャンパスガイド等 学生調査（3つのポリシーの認知度に関する質問）
管理・運営体制	<input type="checkbox"/> 教学マネジメント委員会を年2回以上開催している。 <input type="checkbox"/> 履修単位上限を設定している。（キャップ制） <input type="checkbox"/> GPAを履修指導に活用している。	教学マネジメント委員会議事録 キャンパスガイド、各種関連規程 履修指導の実績
教育の実施	<input type="checkbox"/> 全開講科目のシラバスを作成し、公表している。 <input type="checkbox"/> シラバスの内容をチェックし、改善のための指導を行っている。 <input type="checkbox"/> 教員は、シラバスに基づいて授業を実施している。 <input type="checkbox"/> 教員は、適切な授業改善の手立てを実施している。	シラバス シラバスチェックの実績 授業評価（シラバス、授業運営、教員に関する質問） ティーチングポートフォリオ、アクティブラーニング実践報告、FD研修会記録・事後アンケート
主観的学修成果（到達度、満足度）	<input type="checkbox"/> 学生は、主体的に学修している。 <input type="checkbox"/> 学生は、十分な学修時間を確保している。 <input type="checkbox"/> 学生は、自己の成長を実感している。 <input type="checkbox"/> 学生は、自己の学修成果に満足している。	学生調査（主体的学修行動に関する質問） 学生調査（学修時間に関する質問） 学生調査（主観的学修成果に関する質問） 学生調査（満足度に関する質問）
客観的学修成果到達度	<input type="checkbox"/> 学生は、DPで想定している能力を身に付けている。	PROG、各学部・学科が行うDP達成度評価

4. AP の検証

(1) AP を検証する視点

<ul style="list-style-type: none"> ・ AP は、教育目標、DP、CP に基づき、受け入れる学生に求める学修成果（学力の 3 要素）を明示しているか？ ・ 選抜方法は、高等学校の学修成果（学力の 3 要素）を適切に評価しているか？ ・ すべての入学予定者に、入学前教育を実施しているか？

(2) AP 検証のためのチェックリスト

検証の視点	チェックリスト	根拠データ
AP の策定・公表	<input type="checkbox"/> AP は、DP に記載している能力を身に付ける前提として求める学修成果を明示している。 <input type="checkbox"/> AP を、公表している。	AP、DP、CP ウェブサイト、大学案内パンフ、キャンパスガイド等 学生調査（3つのポリシーの認知度に関する質問）
選抜方法	<input type="checkbox"/> 多様な背景を持つ学生の受け入れる入試区分を設けている。 <input type="checkbox"/> 各入試区分の選抜方法は、「学力の 3 要素」を多面的に評価する選考方法を採用している。	入学者募集要項
採点基準	<input type="checkbox"/> 採点基準（ルーブリックなど）を作成している。 <input type="checkbox"/> 採点基準は、各選考方法に対応する学力の到達度（学修成果）を評価するものになっている。	入試問題 採点基準
入学後の追跡調査	<input type="checkbox"/> 入試区分別に、休学・留年・退学の動向を把握している。	休学者数・留年者数・退学者数（入試区分別、学科別、学年別）

5. 2023 年度年間スケジュール

(1) 4 月 アセスメント・ポリシー及びアセスメント報告書の作成、重点取組課題の抽出

(2) 5 月以降 重点取組課題について実施可能な改善策の立案・実施

以上